



一般社団法人 長崎青年協会

2014年
8月号

寄与する事を目的とする
もつて地域社会の発展に
会員の建設と
自己の建設と
我々は会員の団結と
相互扶助の精神の基に
長崎青年協会憲章
一般社団法人

8~9月スケジュール

- 8月 21日 定時例会（出島交流会館）
- 9月 21日 第一回おくんち親睦広場全体設営
- 9月 22日 定時例会（場所は9月号にて）
- 9月 28日 第二回おくんち親睦広場全体設営

平成26年度スローガン

樂
【GAKU】

会長挨拶



第46期会長
馬渡 一正

猛暑の日々、皆様、如何お過ごしでしょうか。

さて、当会は7月19日（土）、20日（日）、諫早市多良見町伊木力地区にて、青少年育成事業（サマーキャンプ）を開催致しました。まずは、この企画にご賛同、ご協力頂きました関係各位の皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。そして、年度当初より企画委員会の皆さんには、子供たちの安心・安全を第一に準備を進め、運営して頂き感謝の気持ちでいっぱいです。大きな事故もなく、今田委員長のこだわり一杯のキャンプを終えることが出来ました。企画委員会の皆さん、大変お疲れ様でした。次の担当事業、忘年懇親会もこだわりの企画期待しております。

その翌週、7月26日（土）、27日（日）の2日間、ながさきみなとまつりの花火警備、エコリサイクルブースの運営に参加協力して参りました。佐藤慎太郎副会長を中心とし、常盤、桐野両委員長には年度始まる前から企画会議に参加、そして当日の運営、人員配置と尽力頂きました。誠にお疲れ様でした。

そして、8月9日は私ども長崎で生きていく者として忘れてはならない日です。69回目の原爆の日を迎え、宮口専務理事と平和祈念式典へ出席し、献花を行わせて頂きました。平和への誓いをあらためて心に刻んだ次第です。

本当に当会にとって、年度の中で最もハードな期間でありました。ここを乗り越えることが出来たのも会員の皆様の参加があったからこそです。皆様には本当に感謝の気持ちで一杯です。

一旦、当会活動も落ち着きますが、10月には『江戸町公園おくんち親睦広場』が控えており、9月中旬以降、全体設営も始まります。お盆はゆっくり休んで、おくんちに向けて『樂』しく頑張っていきましょう。

今後とも、どうぞよろしくお願ひ致します。

会員拡大委員会より魂のメッセージ！



副委員長
江東 勉

（一社）長崎青年協会では、現在共に活動する仲間を募集しております。夏は「青少年育成事業」として「サマーキャンプ」を行っており、また、秋は「おくんち」期間中に「江戸町公園おくんち親睦広場」を開設し、子供たちからお年寄りまで安心・安全に楽しめる場を提供しております。また多くのボランティアの方々にも協力して頂いており、そこから当会へ入会される方もいらっしゃいます。地元長崎を皆様と一緒に力を合わせ、活性化していくことを楽しみしております。長崎の為に「何かしたい」と思われるあなた！当会には頼もしい仲間達が待っています。是非一度お問い合わせください！

株ABC不動産



浜町店 Tel.816-3232

長崎駅前店 Tel.811-3232

長崎大学前 Tel.849-3232

協会会員様および紹介者様
仲介手数料10%割引致します

OB 松本貞臣

親和観光

寿し・割烹



じん

〒850-0904

長崎市船大工町6-10(中尾ビル)

TEL 095(820)0787

FAX 095(824)9683

<http://sushi-kappou-jin.com/>

OB 中尾 仁

ソーケン株式会社

介護・湯灌・警備・派遣等
なんでもご相談下さい

長崎市住吉町21-7

TEL 095-894-9500

○B 佐藤 誉

会員 平井 聖士

印刷・出版・画廊

絵画・絵ハガキ・書籍【展示販売】



会社 タイピント印刷

〒850-0034 長崎市桜島町9-15

TEL 095-4777・FAX 095-2340

mail:typintg4@proof.ocn.ne.jp

OB 山口 稔之



まわたり
弁当販売

長崎市浜口町12-8

tel 095-844-3835

fax 095-844-1707

会員 馬渡 一正

7月定時例会

於 新興善メモリアルホール



平成26年7月23日(水)、7月度例会が新興善メモリアルホールで開催された。

まず、馬渡会長の挨拶が行われ、キャンプを大成功に終わらせた企画委員会に対する労いの言葉と、「これから渉外活動が続き、おくんちまでのハードな期間、会員の団結が更に重要になる」との話がなされた。続いて、役員報告が行われ、荒木監事から8月8日「平和の灯」の参加協力依頼の報告が行われ、次に、佐藤副会長の代理で桐野君から「みとなつり」の会員の配置説明などの報告があった。続いて委員会報告が行われたが、主な報告は下記の通り。

(総務例会) 例会の企画説明

(事業) おくんち事業協力依頼

(広報) 広報誌発送協力依頼

(企画) キャンプ事業報告、御礼

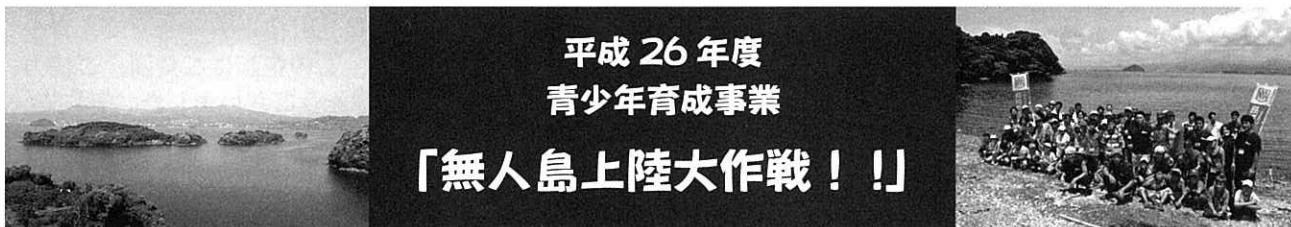
(交流) 家族懇親会のDVD作成状況

(会員拡大) 入会希望者リスト作成依頼

また、会員拡大委員会(桐野委員長)から先月入会の佐藤 峻君の紹介が行われた。佐藤君からは「わからない事が多いですが、長崎を盛り上げていきたい」との言葉があり、恒例の「青年協会へようこそ!!」の掛け声と拍手で歓迎され、当会の仲間に加わった。その他の報告では、3月に結婚した鈴木君の結婚報告があり、馬渡会長から結婚祝が贈呈された。

そして今回の企画に移り、「自己PR」では、鈴木君による新車販売・営業の仕組み、お得な購入時期についての話、次に野村君による土地家屋調査士の業務内容、登記や制度について話がされた。2本目の企画「行列の出来ない山本相談事務所」では、テーマ「平和」についてクイズが出題され、8月9日を前にし、改めて平和について考える時間となった。

その後の誕生者祝いでは、誕生者に馬渡会長から一人ひとりにメッセージカードが手渡され、吉野君扮する「田中邦衛?」によるヨロコビ報告、青年協会歌の齊唱と続き、7月度例会は閉会した。



平成26年7月19日(土)20日(日)、23回目となる青少年育成事業(サマーキャンプ)が開催された。今年度は「無人島上陸大作戦!」と銘打ち、伊木力地区沖合に浮かぶ島「鹿島」を舞台に繰り広げられた。キャンプ用の施設が整っていない場所をあえて選んだのは、日常当たり前に使っている、電気・水道・ガス等のありがたみを子供達に感じてもらいたいという委員会の思いからであった。事前準備は過酷を極め、木の伐採・整地、荷物の搬入、陰の確保等、委員会は毎週の様に島へ通い、この日を迎えたのであった。



～1日目【7月19日(土) 曇りのち晴れ】～

心配された天気も問題なく初日を迎えた。子供たちも元気いっぱいにJR長崎駅へ集合。出発式を終えJRで大草駅まで移動する。JRでの移動は初めての試みであったが、自ずと対面に座ることとなる子供達は自然と話し始め、互いに打ち解けていた。大草駅到着後、徒歩でJA選果場まで移動。



ここで1つ目の企画「竹灯籠」の作成。のこぎりや電動ドライバーを始めは恐る恐る使っていた子供達も次第に慣れ、思い思いの模様の入った立派なものが出来上がった。この灯籠は後の企画の際に重要なオブジェとなるので大事に保管。その後、会員の特製カレー(おいしかったかな?)で昼食を済ませ、水難救済会の皆さんによる「海事思想講習」へと移る。子供たちに水の事故を防ぐ方法、救助の求め方などを熱心に指導して頂いた。真剣な眼差しで話を聞き入る子供達を見ながら、会員からも「決して事故を起こさせない」という強い意識を感じられた。



このタイミングでの海事思想講習には意味がある。それはこの次に「イカダ体験」が待っているからだ。委員会が事前に作り上げた8名乗りのイカダで班毎に漕いで行く。全班を船で途中まで引っ張る案もあったが、自らの力だけで島まで渡り切る班も出現。子供達の力強さを感じた。スゴイ! 島に到着後の表情には達成感が満ち溢れていた。





島へ到着後、寝床確保。つまりテント設営だが、なかなか難しい。ここは今回ご協力頂いている長崎県キャンプ協会の方々にご指導頂きながら、テント完成！

次は子供達の大好きな「磯遊び」。サザエなども取れ、晩ごはんには持つて来いだ。その後「釜戸作り」を行い、夕食のバーベキュータイムへ。おっとその前にシャワーを浴びる。ここもお手製の「ペットボトルシャワー」。水が大事だということを感じてもらうための計らいだった。ペコペコにお腹をすかせた子供達はバーベキューに夢中、竹をくり抜き、そこに米と水を入れ炊き上げた「特製竹炊飯炊きたてご飯」も見た目からして食欲をそそる！実際お代わりをする子供達も多数見られた。自分たちで取ったサザエの味もさぞかし格別だったことだろう。満足、満腹。。。



さあ、星間作った竹灯籠の出番である。点灯式の後、浜辺には幻想的な空間が広がる。そこに登場は、これまた幻想的な「NYA48」。赤いお揃いのTシャツに身を包んだ会員が無人島ライブを繰り広げる。子供たちの夢に出てこないだろうか・・・と、これにて就寝。



～ 2日目【7月20日（日）晴れ】～

ラジオ体操を済ませたら朝ごはん。献立は「ぐるぐるパン」と「目玉焼き」。ぐるぐるパンとは、アルミホイルを巻いた竹に生地を巻きつけ、直火で焼く。これがまた香ばしく、美味しい！目玉焼もアルミホイルで作った皿で自分達で調理。楽しみながら満腹になったようだ。



テントを片づけた後、「竹細工」スタート。昼食で使う箸と器を作る。その横では大人が竹を半分に割った長~いスベリ台を着々と作っている。もう献立はお分かりですね。



何気に海に目をやると、迷彩服の4名の方が船で島に近づいて来ているではないか。そう「自衛隊大村駐屯地」の方々だ。後ほどロープ訓練を体験させて頂くのだが、その前に自衛隊についてお話しを頂く。自衛隊の存在意義、どのような活動をされているのか等をパンフレットに沿ってご説明頂いた。子供達の質問では、際どいものが多く、ちょっと答えに困っていたが、11/30に大村駐屯地のイベントがあるそうなので、そこに答えがあるかもしれない。



さあ、昼ごはん。お察しの通り、「流しそうめん」である。作っていたスベリ台は20mくらいだろうか、それだけでもテンションが上がる。また、自衛隊の方々に自衛隊食もお持ち頂いた。外でもすぐ温めて食べられるご飯と、3種類のおかずがまた美味しい！きれいで平らげた子供達は、空いた時間で海辺を掘っている。何をしているのだろうか？「真珠が出るとバイ」自慢げに見せてくれる笑顔が可愛かった。



片づけが終わると、船が迎えに来ている。島を後にする時間だ。ある女の子は「ここに住みた~い」と寂しそうに言っていたが、それを聞いた会員は心の中でガツツポーズをしたことだろう。



J Aの選果場に戻ってきた子供達は、最後の企画「自衛隊ロープ訓練体験」に挑む。ピンと張ったロープの上を腹ばいで進んでいくアレだ。まずはロープの結び方から。これはなかなか苦戦を強いられたが、準備完了。そして一人ずつロープに乗り、進んでいく。やはりなかなか難しいようだ。ただ、ちょっとコツを掴むとすぐに慣れる子供達には脱帽だ。全員が無事ロープを渡り終わったところで、2日間の企画が全て終了。



バスにて解散場所の江戸町公園へ向かう。車中では、子供達よりも大人達の方が疲れて寝てしまっている。まあ、毎年の光景ではあるが。



江戸町公園へ到着。あっという間の2日間であった。解散式の後、保護者の元へ一目散に駆けて行く子供達。班長を務めた会員が寂しさを覚える瞬間でもある。

全てを無事終了した委員会メンバーには安堵の表情が見られる。手前味噌で申し訳ないが、素晴らしい「青少年育成事業」だったのではないだろうか。子供たちのこの夏の思い出、いや一生の思い出となれば幸いである。最後の委員長の涙がそれを物語っているかの様であった。

今田フエシス

〒859-0418
諫早市多良見町佐瀬 789-1
TEL/FAX 0957-44-1150

会員 今田 拓郎

shop Yokota

思案橋店 酒の宿
長崎市本灰石町1-7(イズビル前)
tel 095-822-7007
fax 095-823-0777

会員 常盤 俊介

press art

Sign Total Design
display・neon・information・shop
exterior・visual・objects・etc
長崎市白木町3-14 若杉ビル1F
tel 095-821-1135
fax 095-821-1194

press-art@ninus.ocn.ne.jp
会員 桐野 克哉

たかしま農園

TAKASHIMA FARM
www.takashima-nouen.com
パートの女王
硬度10
情熱パート
硬度9
純情パート
硬度7

会員 北川 栄太

ぬの庵の尾屋

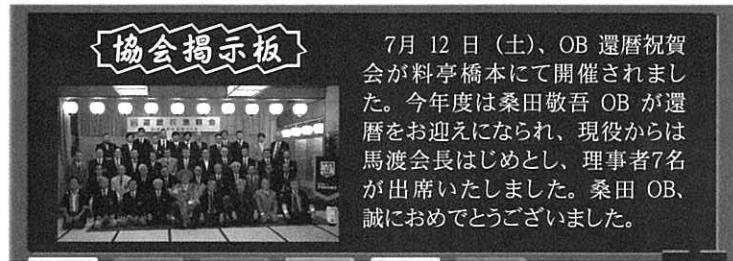
夢彩都店 095-829-3355
チトセピア店 095-842-2188

会員 荒木訓弘

ながさきみなとまつり



7月26、27日の両日、ながさきみなとまつりに参加し、今年度も花火観覧のお客様の警備およびエコリサイクルブース（ごみ収集所）の管理を行った。年々来場者のマナーも向上し、ごみ分別の意識も高まっているように感じられ、以前の様に声高くお願ひしなくとも自然とご協力を頂けた。警備に関しても、進入禁止箇所に入る方もほとんど無く、スムーズに行うことが出来た。26日は途中で結構な大雨が降ったが、27日は快晴でかなりのお客様が来場されていた。そのような中、特に大きなトラブルもなく終了することが出来、当会としても地域のお役に立てたと実感できる2日間となつた。



7月12日(土)、OB還暦祝賀会が料亭橋本にて開催されました。今年度は桑田敬吾OBが還暦をお迎えになられ、現役からは馬渡会長はじめとし、理事者7名が出席いたしました。桑田OB、誠におめでとうございました。



NAOMIの

特別編

長崎検定への道！チャレンジNYA！！

～特別回「祈りと伝承、そして決意」～

ジャイアンです！今回も俺の時間はおれの物、お前の時間もおれの物！スネオ1号をつれて原爆資料館に行ってきました！長崎に住む私たちにとって忘れてはならない日があります。今回は視点を変え、平和、原爆について書いていこうと思います。

今から69年前、皆さんもご存じの通り、8月9日11:02 長崎に原爆が投下されました。この原爆による被害は、長崎市の当時の人口24万人の半分以上、約14万人が死傷したと記録に残っています。まずは、「この原爆とは？」ということに着目してみたいと思います。

投下された原爆には、広島は「リトルボーイ」長崎は「ファットマン」って名前がついているのはご存知でしたか？しかも原爆と一括りにしていますが、実は中身も違うんです。

リトルボーイはウランでの核分裂、長崎はプルトニウムを使った核分裂で構造が全然違うんです。さわりだけ言うと、費用と生成時の取り扱いの難しさが違うらしいです。

威力はというと、長崎の死傷者に対し広島の死傷者が16万人ですが、実はファットマンはリトルボーイの1.5倍の威力だったそうです。長崎の山間によって広島より被害が少なかったんですが、平地だと凄まじい数の死傷者が出了のではということです。

さて、この原爆投下をアメリカ側の視点でみると、アメリカ軍全てが望んで行ったわけではなく、原爆投下阻止のため行動した人達もいたんです。投下後もアメリカ内部では揉めたらしく、そんな歴史的な背景も色々あるんですが、それはまた別の機会に…。

最後に私の知り合いの塗装屋さん（70代）は被爆のいろんな体験を教えてくれました。浜町近辺が火事で燃えなかったのは中島川のおかげとか、今の市民病院には中に入りきれずに外にまで怪我人が並んでいたとか、その怪我人のお腹がうごいているからよく見てみるとウジが湧いていたなど、被爆した当時の人の言葉を聞くと、悲惨な状況がより一層伝わってきます。その語り部の方々が年々少くなるのは非常に残念なことなんですが、私たちが後世にその事実を伝えていくことは出来ます。いや、伝えて行かなければならぬのではないでしょうか。そんな塗装屋さんはシンナーの匂いがする現場で元気にペンキ塗っていました。75年間は草木も生えない町と言われた長崎は約10年で復興し始めました。

「人間は戦争なんかには負けない！そして起こさせない！」そんな気持ちで戦争という愚かな行為と戦うための歴史をこれからも学んでいこうと思います。



TEL 095-821-1625
FAX 095-823-7375

URL <http://www.nya.or.jp>
Mail info@nya.or.jp 印刷 (有)タイピント印刷

長崎産直
なづみ野Salad

〒851-2106
長崎県西彼杵郡時津町左底郷340-1
TEL/FAX 095-801-8083
地産地消！旬の農産物など揃えてます！
会員 濱口 吉朗

冠婚葬祭互助会
ケレモニー長崎
平安閣グループ

〒850-0052
長崎市筑後町3-1
TEL 095-821-0774(代)
FAX 095-824-3425
会員 岩永和哉

お部屋のトータルコーディネート
承ります！！
トータル インテリア

有限会社 **くらしと**

〒8512-8143 長崎市川平町383-13
TEL 095-847-0280 FAX 095-849-5101
携帯 090-4480-1977
E-mail: kraft2012@ark.ocn.ne.jp
会員 近藤力丸

セキュリティ&ビルメンテナス
STAR LIGHT

株式会社 **STAR LIGHT**

〒850-0037
長崎市金屋町1-2 桜ビル2F
TEL 095-823-6575
FAX 095-823-6578
会員 城 竜次

J-net Rent@Car

Jネットレンタカー
長崎市宝町3-20
TEL 095-818-7400
FAX 095-818-8400
会員 松下道